

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2021年 9月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2021年 9月 1日発行 通巻341号

自分だけは大丈夫・とんでもない！

うつらない うつさない の徹底を！

9月号目次

・ 目 次	2
・ 山行報告 ・ ・ ・ らんたん山の会	3
・ ・ ・ 市川山の会	5
・ ・ ・ 船橋勤労者山の会	7
・ 事故防止交流集会案内	9
・ 県連自然保護活動について（1）	10
・ オリンピックボランティア活動報告	11
・ 9月・10月予定表	12

表 紙 説 明

「山の会らんたん」からの山行報告です。
自家用車を利用して、福島県会津地方の静かな人気の山
「志津倉山」の山行報告です。

初夏の志津倉山（福島会津）

〈記 録〉

府川 良子（山の会らんたん）

・実施日 2021年6月12日（土）

・ 柏口東口(5:40)＝常磐道～磐越道經由会津坂下 IC＝志津倉山登山口(10:17) 志津倉山登山口(10:25)－大沢コース分岐点(10:30)－雨乞岩展望地(10:54)－シャクナゲ坂(11:55)－屏風岩(12:03)－三本松(12:33)－頂上稜線(13:10)－志津倉山山頂(13:20/14:00)－糸滝(14:41/14:45)－大沢コース分岐点(15:44)－志津倉山登山口(16:00/16:10)＝三島道の駅＝磐越道～常磐道經由＝柏 GS(20:45)＝解散

好天に恵まれた一日でした。高速道路もコロナ禍で、車が少なく、全く渋滞なしでスイスイ走れ、予定時間通りに

登山口に着いた。今回の志津倉山の山行計画を作成中に、丁度、秩父山中での遭難に関するテレビ番組が放映された。それは登山計画書を出さない単独行で、奇跡的な救助までに2週間もかかったもの。これを視聴していたので、登山口の志津倉の鐘で、真っ先に計画書を提出した。



志津倉の鐘から30分くらいは沢沿いの滑りやすく狭い急登の登山道を歩き、雨乞岩展望地点に到着した。

そこから三本松過ぎまでは、今まで以上のかんりの急坂で、相当しんどかったが、木の根っこを掴んだりして必死に登った。



ブナ平で、やっと平坦な道になり、13時30分に頂上にたどり着いた。頂上からは遠くの山々が見え、Fさんが御神楽岳ではないかと言っていた。

昼食後、14時に下山開始し。下山道も急で、落ち葉で結構滑るし、私は、2回も転んでしまった。

事前の調査（三島観光協会）では、6月初旬には、例年山開きを行い登山道の整備を行うとのことであったが、今年は？でも歩き易かった。

また、熊が出るかもしれないので、熊よけのベル持参を勧められた。

頂上で、集合写真を撮って貰った男性に、下山途中で、また出会ったが、一人での登山で、熊は大丈夫だったのかしら？と思った。

やっと緩やかな登山道になって登山口に到着した。16時だった。

登山開始時には、私達の車を含め4台の車が駐車していたが、下山時には私達の車だけになっていた。

高速の復路では2ヶ所料金所SAで休息し、柏のGSに、20時45分に無事帰りつくことが出来た。

運転して頂いた方々には、往復10時間という長い距離を運転頂き、本当に感謝申し上げます。

（記 M）

山行報告 上高地散策と乗鞍岳登山

市川山の会 松宮 俊一

2021年夏、8月1日2日で上高地を散策し乗鞍岳に登り自然を満喫した。

1日目は上高地散策。大正池入口で下車。

樹林越しに北アルプス唯一の活火山焼岳のドーム型の特徴的な山容が見える。山肌からうっすらと煙も上っている。樹林を抜けると大正池。立ち枯れた木々が池の中に林立するかつての幻想的な光景は失われ、石がごろごろと転がる河原を梓川が流れていた。前方の穂高連峰の頂上部分は雲に隠れている。ケショウヤナギやシラカバ、カラマツが繁る林を抜けると田代湿原。クガイソウ、トリカブト、キツリフネ、ウツボグサ、ミヤマアキノキリンソウなどが咲いている。清らかな梓川沿いを進み田代橋、穂高橋を渡る。流れの中にバイカモが揺れている。

梓川畔の木立の下で昼食。頬を撫でる涼風が心地いい。霞沢岳、六百分を望む巨岩に日本近代登山の父と称される英国人ウエストンのレリーフと碑。百年前の登山を想う。

カラマツ林をしばらく歩くとニホンザルに遭遇。びっくりする。ボスザルに率いられた集団のようだ。可愛い子ザルを抱えた母ザルも一心に餌を探している。人間には目もくれない。

上高地のシンボル河童橋。雪をまとった穂高連峰が雲間からその頂を覗かせている。絵葉書のような景色だ。キャンプ場のある小梨平を過ぎ、明神池をめざす。林床にカニコウモリが咲いている。明神岳の岩峰を左に見ると明神。橋を渡り明神池に着く。穂高神社奥宮境内にある針葉樹が取り囲む神秘的な池だ。

明神池からは梓川右岸ルート。所々木道のある起伏のある道を歩くと岳沢湿原、立ち枯れた木々の上に穂高連峰。明神、前穂、釣り尾根、奥穂、西穂が聳えている。雷鳴が聞こえる。急いで河童橋をめざす。記念写真を撮り駐車場へ。滑り込みセーフ。車が動き出したら雨が降ってきた。初めて歩いた上高地自然研究路。起伏も少なく、変化に富んでいてとても楽しい道だった。

2日目、乗鞍岳登山。乗鞍高原の宿から乗鞍エコーラインを上る。高原には晩夏の花ヤナギランが咲き、ススキが穂をなびかせている。まだ8月初旬なのに季節の進みが早い。カラマツやダケカンバ、ナナカマドの中を進む。森林限界を超えるとハイマツが繁っている。青い空に乗鞍岳の峰々が映える。剣ヶ峰の三角錐も美しい。雪渓も少し残っている。

昼平に着く。空気が爽やかだ。乗鞍岳最高峰剣ヶ峰をめざす。登山道に入ると高山植物の群落だ。ミヤマキンポウゲ、コバイケイソウ、コイワカガミ、イワギキョウ、ミヤマダイコンソウ、シラネニンジン、チングルマ、ミヤマゼンコなどが咲いている。火山性の土壌で栄養が少ないせいか、花が小ぶりだ。花の間に雷鳥の親子がいた。可愛い。しばし見とれる。富士見岳のガレた斜面は一面コマクサの群落。

孤高に咲く小ぶりの花がけなげだ。不動岳の雪渓が解けこんだ青い不消ヶ池が美しい。

摩利支天岳の旧コロナ観測所のドームを右に見て広い道を下ると肩の小屋。
雪渓では夏スキーを楽しんでいる。

腰を下ろし剣ヶ峰を仰ぐ。岩の斜面に登山道が続いている。あと1時間ほどだ。水とエネルギーを補給し、岩場の道を一步一步登る。眼下に乗鞍高原が広がっている。朝日岳の急斜面にまたもやコマクサの群落。さらに小ぶりで花の色が濃い。蚕玉岳の上りにかかる。振り向くと、雲から突き出した岩壁のように槍・穂高連峰が聳えている。西側には三角形の笠が岳、その間は黒部源流の山々、そして遠くには後立山連峰の山々。素晴らしい景色だ。思わず何枚もシャッターを切る。

蚕玉岳の目の前は剣ヶ峰。社もはっきりと見える。あと一息だ。右側には火口湖の権現池。岩場を登ること十数分。乗鞍岳最高峰剣ヶ峰の頂上に着いた。何度登っても頂上はいい。神社に登山の安全を祈願し、記念写真を撮る。すぐ西側には7年前に噴火し、多くの犠牲者を出した御嶽山。感慨深いものがある。

下山途中2度も雷鳥に遭遇した。乗鞍岳は生息数が多いようだ。番のイワヒバリも囀っていた。豊平のお花畑に立ち寄る。今年は雪の量が少なく、雪解けが早かったせいか、ハハクサンイチゲやクロユリなどは既に終わっていた。

下山後、乗鞍高原温泉の乳白色の湯で心も体も癒し、帰途に就いた。久ぶりの乗鞍岳。天気恵まれ、素晴らしい山岳風景とコマクサなどの高山植物やライチョウ、イワヒバリなどに出会えて大満足の山行になった。



船橋勤労者山の会夏山報告

7/17-18 火打山・妙高山プレ夏合宿（参加者 3 名、報告：畠山）

朝、5:50 に登山開始、多くの鳥のさえずりが聞こえる森の中を時折吹いてくる涼しい風を感じながら順調に高度を上げてった。富士見平付近ですれ違った方にテント場の様子を伺ったところ、多くのテントが既に張られているとの情報を聞き焦りを感じた。実際に高谷池ヒュッテに到着してテント場に行くと、既に適地はテントで埋まっており、石の埋まった部分にテントの底面の一部が覆いかかるような条件の悪いところしか残っていなかった。

高谷池ヒュッテにテントを張り小休止後、火打山に向かう。途中、大小多数の池塘がある湿原には多く種類の花々が群生し一斉に開花しており、背景の山肌の緑と池塘の群青、黄色やピンク、白など多くの色のコントラストが印象に残った。一方で灼熱の太陽の下、ライチョウ平から火打山山頂までの急登はペースが上がらない。ようやく、山頂に到着し日本海、後ろ立山連峰、槍ヶ岳、乗鞍岳、妙高山、越後の山々まで 360° のパノラマが素晴らしかった。山頂で行動食を摂りつつ、ゆっくりした後、下山を開始。



テント場到着後、それぞれ持参・購入した飲み物などを雪渓で調達した雪で冷やし、海藻サラダ、プルコギに舌鼓を打ちつつ夕方まで楽しい時を過ごした。深夜、目を覚ましトイレに向かうと夜空には満天の星が輝き天の川をはっきりと捉えることができるほど素晴らしい天体ショーを満喫できた。

翌朝はテントを撤収し、朝食を摂り 5:10 に出発。黒沢池ヒュッテのテント場にも所狭しとテントが張られていた。妙高山は火打山と異なりアップダウンを伴った山道で、一部崩落している部分や僅かな距離ではあるが雪渓をトラバース・登る所があったが概ね、歩きやすい登山道で会った。ただし、最後の急登は結構きつく足取りも重くなった。

一部ガスが流れてきたものの妙高山山頂からの眺望もほぼ、360° の眺望を満喫できた。雲が一方の斜面に張り付いた富士山、南、中央、北アルプスの山々などを一望することができた。

黒沢ヒュッテに戻り、12:30 に重い腰を上げて笹ヶ峰に向けて歩き始めた。僅かな坂を登るとワタスゲが咲き誇る湿原が現れ、その中にひかれた木道を歩く。まさに尾瀬ヶ原の一部を歩いているようである。湿原も終わり、山道をひたすら無言で下山、予定よりも早く下山。帰りがけに杉野沢温泉 苗名の湯に立ち寄りさっぱりして高速道路に向かった。

8/7～9 剣岳（参加者 2 名、報告：酒井）

8/6(金)台風接近で悩んだが 17:00 の気象協会剣岳立山町予報（7 日-8 日は曇・晴、9 日は雨）を信じて 20:00 西船集合。24:00 道の駅安曇野松川。



8/7(土)05:30 同道の駅発。06:00 扇沢無料駐車場着。06:30 扇沢発。08:00 室堂着。晴れ。剣御前小屋から剣沢野営場 13:00 頃着。剣沢偵察後、幕営。例年よりすいていた。17:00 頃から小雨。夜中に止む。



8/8(日)04:10 剣沢野営場発。晴れ。05:45 長次郎谷出合着。雪渓は固く締まっておりアイゼンが良く効く。左右の岩にシュルンドあり、真ん中に行く。風も出てきた。熊の岩は右から回り込む。テント 3 張りあり。八つ峰登攀者の声が聞こえた。最後の詰めは、雪渓がうまく陸地につながっており問題なく上がった。岩部分のコース取りに苦労したが、11:30 剣岳着。別山尾根の下りは、一服剣の登り返しあたりから、バテバテ。安全第一でゆっくり下る。16:45 剣沢野営場着。天気が持ってよかった。



8/9(月)06:20 剣沢野営場発。この頃から、雨。剣御前小屋では本格的雨で風も出てくる。雷鳥平で雨あがる。10:45 室堂着。扇沢に着いたら、また雨。大町温泉郷薬師の湯で入浴し食事後、長野道経由で 19:30 西船着。

満天の星に秋雲剣の山

2021 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。
今回は、千葉市内の公民会で日帰りを実施し、参加しやすくしましたので、各会の積極的な参加を期待します。
詳細は下記を参照下さい。

記

- 1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会
- 2) 日時 11月6日(土) 10時～16時30分(9時30分より受付)
- 3) 場所 千葉市幕張勤労市民プラザ 多目的ホール
JR 海浜幕張駅より徒歩 13 分
* 館内で食事はできません。
- 4) 内容
 - (1)事故報告
今年度発生 of 事故報告
 - (2)転倒事故防止対策
過去 32 件の転倒事故の分析と対策
 - (3)事例研究
事事故例のビデオ視聴とグループ・ディスカッション
 - (4)長野県山岳総合センターの講演ビデオ視聴
「山のグレーディングと登山体力セルフチェック」
自分の力量に合った山を選んで登ることを学習
 - (5)フリーディスカッション
希望するテーマ(ハイキング、クライミング、雪山など)のグループに参加し
自由な意見交換による情報交流
- 5) 参加申込／締切
別途配布の参加申し込みフォームにて 会で一括申請
教育遭対委員会 伊東：itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384 10/22 締切
参加者は 40 名程度(スタッフ含む)を予定しており、申込多数の場合は、調整する事が有ります。
また、当日はマスク着用、手洗い・手消毒を徹底して実施します。

千葉県連の自然保護について

(第45期：2011年度定時総会資料より)

元県連自然保護委員長 鶴沢喜久雄（ふわくHC）

追原から鬼泪山～愛宕山へ

2011年の新年を明るい気持ちで迎えました。

長引く不況の元で何が明るかったのか。それは1昨年と昨年2年続きで、千葉県連が取り組んできた、“房総の山岳自然保護運動”の「鬼泪山から山砂採取問題」にストップが掛けられた報が、年末に舞い込んで来たからです。

「鬼泪山からの山砂採取する程の公共事業は現時点では見当たらない」と結論づけた千葉県土石審議委員会からの報告が森田知事に提出され、12月の県議会での質問に「土石審の結論を尊重する」と森田知事が答えたからです。

これを受けて“鬼泪山国有林を守る市民の会（岩崎二郎会長）”は「鬼泪山そのものと国有林も関山湧水も守られることになりました」との声明を発表し、関係者に“勝利宣言”が送付されました。

一昨年の定期総会で“鬼泪山を守る”特別議決が決定されてから、千葉県連を挙げて房総半島の自然の学習会*鹿野山、鬼泪山の現地調査ハイキング*クリーンハイキングを企画しての取り組み*労山全国連盟への要請と署名運動*対県、対環境省交渉*独自の守る会“山人の会”の結成、等々の活動が展開されて勝ち取られた結果でした。

さて表題の“追原”とは、何でしょうか。追原は、「おっぱら」と読みます。県内第二の長流の小櫃川上流部の七里川に県営ダムを構築し、七里川の清流をダム湖底に沈め、追原に遣る巨樹“追原の楓”の命まで危うくするダム湖造成に反対する運動を、県連が中心となり県自然保護連合の総力を結集して、“ダム建設中止”を勝ち取り、清流と巨樹を守りぬいた運動を指します。

この追原の運動は、千葉県連として本格的な山岳自然保護運動であり、七里川の清流と追原の巨樹を守る事の一点で、他団体（県自然保護連合・三番瀬を守る会・盤洲干潟を守る会・東大演習林職員団体他）と共同した運動を展開した結果、勝ち取られた成果でした。

この様な千葉県連の運動の実績の上に立ち、今後何年かけて取り組みたい課題が「愛宕山」です。愛宕山とは何でしょうか。

これは言わずと知れた房総半島の最高峰（408m）の山であり、この山が自衛隊のレーダー基地として占領されて居り、我々山男や県民が自由に山頂を踏むことの出来ない状況となって居る山です。

千葉県で最高峰の基地を撤去して、自由に登ることの出来る山にしようと言うのが、“愛宕山”問題です。この問題は、様々の要素を含んでいる問題です。何の規制もなく県内の山を自由に歩きたいとの願望もあると思います。千葉県連盟内で議論をふまえて、山岳自然保護運動の一環として取り組んでほしいと切に思います。

8月の理事は休みでした。理事会報告に変わり、過去の自然保護活動に関する投稿を掲載しました。この機会に自然保護活動について考えて下さい。

——編集者——

今年 5 月に入会された新会員の「東京 2020 オリンピック、ボランティア体験」の紹介をさせていただきます。皆さん、オリンピックを楽しみましたでしょうか。

東京 2020 オリンピック・ボランティア体験について

2021-08-16 前田周祐

思ってもみなかった新型コロナ禍で開催すら危ぶまれた東京 2020 オリンピック。終わってみると、それなりに盛り上がったように感じます。

私は東京オリンピックのボランティアに登録し、数年前から各種教育など受講し準備を進めていましたが、昨年からまさかの新型コロナ禍。1 年延期のあと、いまひとつ盛り上がり感に欠けたまま開会式を迎えました。



後列中央が本人

史上最大の金銀銅メダルラッシュもあり、やはり開催すれば結構盛り上がったように思えます。東京は無観客が決まり、ボランティア業務も見直しが相次ぎましたが、私はカヌースラロームセンターのVIP担当。会場に來訪されるVIPのお出迎えから、VIP ラウンジ、VIP 観覧席をローテーションで業務。IOC のバッハ会長、橋本聖子 JOC 会長、モナコ公国の王子さん、ハンマー投げの室伏さん等々にもお目にかかれ、外人の出入りもあるので英語での案内等も楽しむことができました。

無観客の選択には世界からも各論があり、昨今の新型コロナ発症数の増加もあり一筋縄ではいかないですが、暗い時代にもスポーツで世界が一つになれば、皆が希望に満ちるのはよいことではないか、という風にも感じました。

写真は葛西のカヌースラロームセンターでの一日が終わった後、ボランティア仲間と記念撮影。社名ロゴなど撮影禁止も多いですが、ここは唯一 Official からゲーム後のみ撮影が許可されました。羽根田選手は決勝に進むも残念ながら前回のようにはメダルには届きませんでしたが、ボランティアでいい汗をかいだ一日でした。

以上

県連予定表

9月			10月		
日付	曜日	県連行事予定	日付	曜日	県連行事予定
1	水		1	金	
2	木		2	土	
3	金		3	日	
4	土		4	月	役員会 19時～県連事務所
5	日		5	火	
6	月	役員会 14時～ ZOOMで実施	6	水	
7	火		7	木	
8	水		8	金	
9	木		9	土	
10	金		10	日	
11	土		11	月	スポーツの日
12	日		12	火	
13	月		13	水	
14	火		14	木	
15	水		15	金	
16	木	理事会 19時～ ZOOMで実施	16	土	
17	金		17	日	
18	土		18	月	
19	日		19	火	
20	月	敬老の日	20	水	
21	火		21	木	理事会 19時～ 船橋市西部公民館
22	水		22	金	
23	木	秋分の日	23	土	
24	金		24	日	
25	土		25	月	教遭委員会 19:30～ ZOOMで実施
26	日		26	火	
27	月	教遭委員会 19:30～ ZOOMで実施	27	水	
28	火		28	木	
29	水		29	金	
30	木		30	土	
			31	日	

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>